

受け継がれる技と丹念な手仕事 芸術品としての竹工芸を堪能する



金沢の希少伝統工芸の一つ「竹工芸」。真竹や煤竹などを用い、数百本から千本もの竹ひごを一から手作りして編み上げます。その繊細でしなやかな造形美は、気の遠くなるような根気と手間の結晶です。作家の橋本紗織さんに竹工芸の特徴や工程についてお話を伺い、実際に竹ひごを手にとって網代編みを体験します。



竹工芸作家
Bamboo Craft Artist

橋本 紗織さん

祖父は加賀竹芸の第一人者・橋本仙雪。出版社勤務を経て、祖父の作品に魅了され竹工芸の道へ。「喫茶竹屋」を営む傍ら創作に励む。金沢の伝統文化を支えるため茶道具の制作にも力を入れている。



竹工芸とは

藩政時代、茶道や華道の隆盛とともに芸術性の高い竹工芸の技術が発展しました。六ツ目編みや亀甲編み、網代編み、菱四ツ目編みなど、しなやかな竹の特性を活かした高度な技法が特徴で、主に茶道具や花器などの美術工芸品が制作されています。



青海編花籃

工程



コンテンツの流れ 竹工芸の作品や制作工程にふれながら、竹ひごを編む体験ができます。



解説

竹の種類や道具、美術品としての竹工芸作品が完成するまでの工程、技術などについてお話を伺います。



実演

竹を割ってひごを作り編み上げる手仕事を見学。時間と労力を重ねて完成する竹工芸の世界にふれます。



網代編みの体験

体験

あらかじめ用意された竹ひごを使って、手ほどきを受けながら網代(あじろ)編みに挑戦します。



作品の紹介

花籠やインテリア小物など、伝統の技と作家・橋本さんの感性が融合した作品を鑑賞します。

定員

10名 最少催行人数2名

参加費 (消費税込)

36,000円/グループ

お申込み

主催者まで直接お申込みください。

※日程は応相談。

行程

現地集合

竹屋

竹工芸の解説・体験

約1時間

現地解散